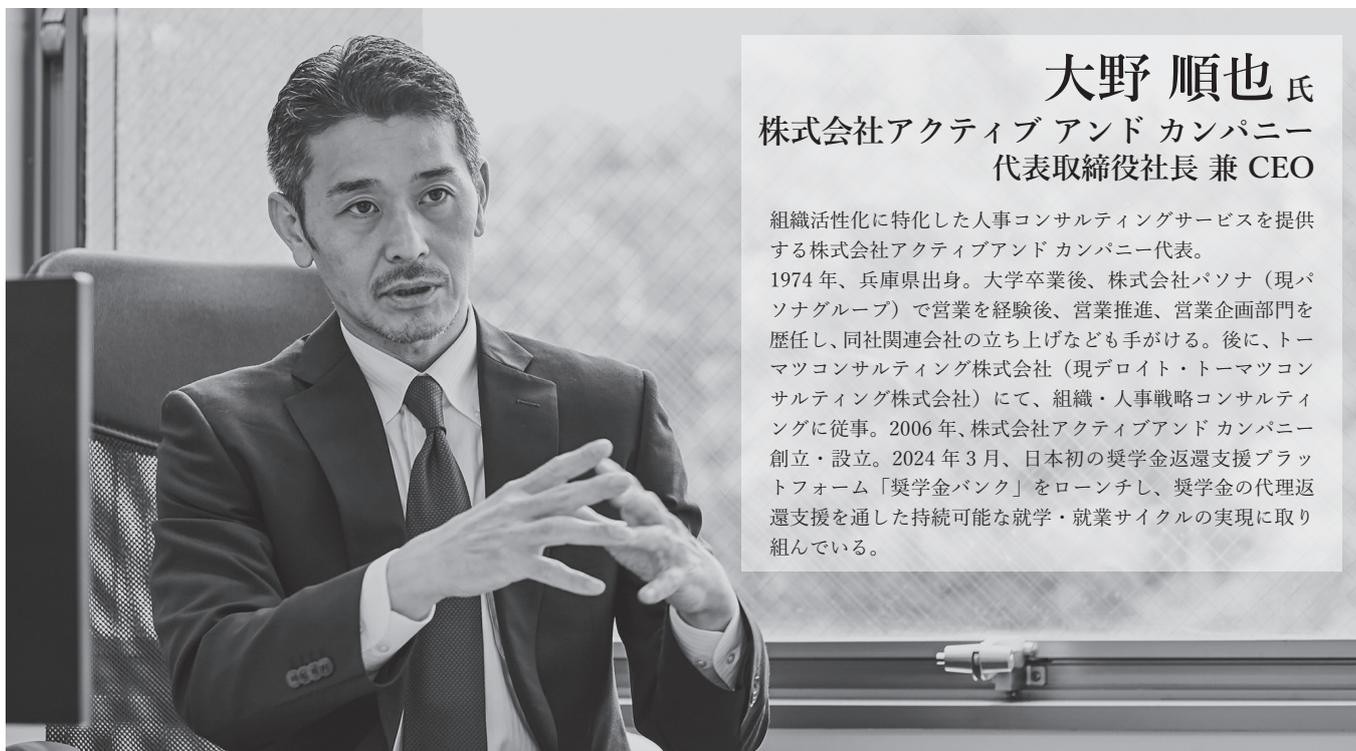


奨学金返還支援がもたらす社会変革

－奨学金バンク導入による若者のキャリア選択と生活スタイルへの影響



大野 順也 氏

株式会社アクティブ アンド カンパニー
代表取締役社長 兼 CEO

組織活性化に特化した人事コンサルティングサービスを提供する株式会社アクティブアンドカンパニー代表。

1974年、兵庫県出身。大学卒業後、株式会社パソナ（現パソナグループ）で営業を経験後、営業推進、営業企画部門を歴任し、同社関連会社の立ち上げなども手がける。後に、トーマツコンサルティング株式会社（現デロイト・トーマツコンサルティング株式会社）にて、組織・人事戦略コンサルティングに従事。2006年、株式会社アクティブアンドカンパニー創立・設立。2024年3月、日本初の奨学金返還支援プラットフォーム「奨学金バンク」をローンチし、奨学金の代理返還支援を通じた持続可能な就学・就業サイクルの実現に取り組んでいる。

はじめに－奨学金返還が若者に与える課題と日本社会への影響

現在、日本の大学生のおよそ2人に1人が利用している奨学金制度。平均的な借入額は310万円、返還期間は約15年にもわたります。大学を卒業した若者は、その借金をゼロにすることに精一杯で、自由なキャリアの選択やそれに向けた自己投資、結婚・出産といったライフステージの変化にも積極的になれないのが実態です。奨学金制度は、進学の夢を支える一方で、卒業後の返還負担が社会問題の一因となっている現状があります。

こうした問題に対処するために設立されたのが「奨学金バンク」です。このプラットフォームは、企業が奨学金返還を支援することで、若者が経済的負担から解放され、より自由なキャリア選択や生活設計を行えるよう支援しています。

後編では、「奨学金バンク」が、若者、そして企業に与える価値について詳しくご紹介し、この奨学金問題の持続可能な解決方法について、皆様と考えていきたいと思えます。

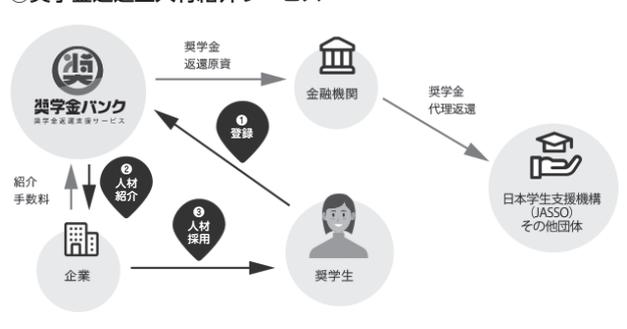
1. 奨学金バンクが提供する3つのサービス

奨学金バンクは奨学金返還を前提にして3つのサービスを展開しています。

- ① 奨学金返還型人材紹介サービス
- ② 奨学金返還支援サービス
- ③ サステナ支援サービス

「奨学金返還型人材紹介サービス」とは、奨学金の返還をしている人材に特化した人材紹介事業です。弊社は企業に人材を紹介して紹介手数料を受領します。その受領した紹介手数料の中から、弊社が紹介した人材が勤務を継続している間の奨学金の代理返還をします（最低3年間、延長の可能性もあり）。そうすることで奨学金返還が軽減されます。

① 奨学金返還型人材紹介サービス



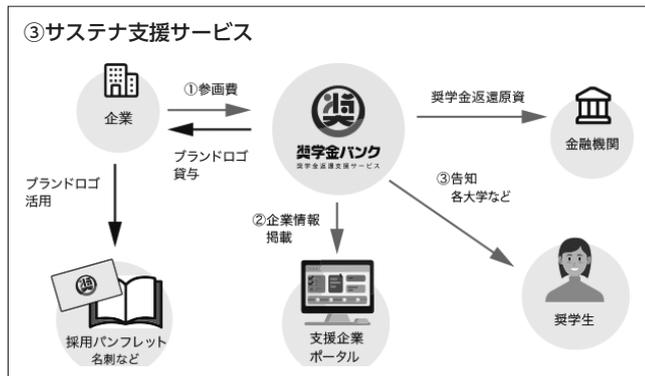
「奨学金返還支援サービス」とは、各企業に従事している既存社員の奨学金返還を代行するサービスです。昨今の奨学金の利用実績から考えると、各企業の従業員数の内10～20%程度の方が奨学金を返還しています。これらの方の奨学金返還を各企業とともに行います。奨学金返還支援サービスを導入することで、既存社員の生活不安を減らし、会社に対するエンゲージメントを高め、定着率の向上に寄与します。

② 奨学金返還支援サービス



「サステナ支援サービス」とは、各企業のSDGs/ESGブランディングを支援する事業です。昨今SDGs/ESGの取り組みを推進する風潮はあるものの、各企業が具体的に実業と結びつけて行うのが難しい現状もあります。そこで、奨学

金バンク：サステナ支援サービスを導入することで、奨学金返還の支援を通して就学就業サイクルの円滑化に寄与し、名実共にSDGs/ESGの取り組みを推進することに繋がります。



現在はこの3つのサービスで展開していますが、奨学金返還を目的に今後は新しいサービスの開発も検討していきます。

2. 奨学金バンクが若者のキャリア選択とライフスタイルに与える変化

奨学金バンクは、若者のキャリア選択において大きな変化をもたらします。これまで奨学金返還が若者の進路選択を制約していました。しかし、奨学金バンクによって経済的な負担が軽減されることで、若者はより自由に自己成長を重視したキャリア選択ができるようになります。

まず、経済的な余裕が生まれることで、若者は短期的な経済的安定を重視する必要がなくなり、本人の興味や将来の夢、また才能を活かしたキャリアに挑戦しやすくなります。奨学金バンクは中長期的な奨学金返還を支援する仕組みになっているため、中長期的に社会全体に対しても創造性や成長志向を持つ人材を育みやすくなるでしょう。

さらに、奨学金バンクは、若者がライフイベントに積極的に取り組むための後押しをします。出産・育児・介護などにおける休業時にも継続的に奨学金返還を支援し、結婚や子育てへの意欲が増し、人生の大きな選択にも柔軟に対応できるようになります。奨学金バンクが若者に与える心理的な安心感は、結果として生活の質を向上させ、社会全体の安定にもつながると考えています。

3. 企業にとっての奨学金バンクの価値－人材確保と企業ブランディング

奨学金バンクは、若者のキャリア形成にとって大きな助けとなるだけでなく、企業にとっても貴重な価値を提供します。企業が奨学金バンクを利用することで、優秀な人材の確保や定着、また企業ブランディングの強化につながります。大学生のうち約半数が奨学金の恩恵を受けている現代の若者にとって、奨学金返還支援を行っている企業は、単なる雇用先以上の魅力を持ち、非常に競争力のある選択肢となるわけです。

これは単なる金銭的支援ではなく、社会貢献に対しても深く関わりを持つことから、若者の企業に対する信用や信頼感を深め、人材の定着率を向上させることができます。

更に、奨学金返還支援は、企業ブランディングの強化にも寄与します。企業が奨学金返還支援を通じて、若者支援や社会的責任を果たす姿勢を示すことで、求職者はもとより広く社会からの信頼を得ることに繋がり、企業のブランド価値を高めます。奨学金バンクは、SDGs/ESGの達成に向け

た取り組みとも深く関連しています。SDGs17の目標のうち、「1：貧困をなくそう」、「4：質の高い教育をみんなに」、「8：働きがいも経済成長も」、「10：人や国の不平等をなくそう」に直結しており、若者の成長と社会全体の持続可能な発展を促進します。

このように奨学金バンクの取り組みに賛同頂き、また参画していただくことで、SDGsに積極的に関与している企業としてのブランド価値を高めることができます。企業ブランディングを強化することで、社会的な評価を得ることができ、結果として人材の確保や消費者からの支持を集める要因にもなります。

4. 奨学金バンクの未来－今後の発展と社会的インパクト

奨学金返還支援は多くの若者に大きな影響を与え、その未来はさらに広がりを見せていくことでしょう。今後、より多くの企業や団体が奨学金バンクに参加し、サービスの拡大が進むことを期待しています。企業の参加が増えることで、支援を受ける若者が増加し、社会全体にポジティブなインパクトを与えることができます。

特に、企業にとっては、奨学金返還支援が単なる福利厚生の一環を超えて、長期的な人材確保や企業戦略の一部として認識されつつあります。奨学金返還が軽減されることで、若者は経済的な不安を感じることなく、自己成長に集中できる環境が整います。これにより、企業は生産性の向上や従業員の成長を促進し、社会全体の経済成長にも貢献できるのです。

また、奨学金バンクは単に若者の奨学金返還を支援するだけでなく、社会全体を変革する力を持っています。若者が奨学金返還に苦しむことなく、自由なキャリア選択ができる社会が実現すれば、より多くの人材が自己実現に向けて活躍できる環境が整い、社会全体のイノベーションが促進されるでしょう。

さらに、奨学金バンクは持続可能な社会インフラとしてもその役割を強化することが求められています。若者が経済的に安定し、自己成長に集中できる環境を整えることは、社会全体の安定と成長に直結します。企業が奨学金返還支援に参加することで、若者が経済的不安から解放され、未来に向けて積極的に挑戦できる社会が実現します。

5. まとめ－奨学金返還支援の社会的価値と展望

奨学金制度は昭和18年に閣議決定された日本の国策です。昭和18年というと第二次世界大戦中です。奨学金の仕組みはそれだけ日本の成長において重要かつ重要視されてきたものの、現在においては若者のただの借金になっている側面が否めません。

奨学金返還支援は、若者が直面する経済的負担を軽減し、キャリアや生活の選択肢を広げるための重要な手段です。奨学金バンクを通じて提供される支援は、若者が前向きに自己成長に取り組める環境を整え、企業と社会に対する長期的な利益をもたらします。

企業が奨学金返還支援を行うことで、若者は経済的な不安を抱えることなく、キャリアやライフプランを柔軟に設計できるようになります。これにより、企業は優秀な人材を引きつけ、社会に対しても持続可能な発展を促す役割を果たすことができます。奨学金バンクは、今後も社会全体にポジティブな影響を与え続ける存在になることを目指しています。

(おわり)